

情報メディア部門

e ラーニング普及へ向けた WebClass 自学自習用オープンコースの作成

情報メディア部門／医歯薬学総合研究科 西田孝洋

1. 目的

長崎大学情報メディア基盤センターでは、全学的な教育用 LMS（Learning Management System）として、平成 19 年度より、WebClass（ウェブクラス社）の試行を開始した（長崎大学 WebClass : <http://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/>）。しかしながら、開設されている授業コース数はまだ少なく、既製のコンテンツも購入していないため、学生が e ラーニングに定着する環境が整備されているとは言い難い。

そこで、e ラーニング普及の第一段階として、自学自習用のオープンコースが必要と考え、全学的に共通な情報教育、統計解析、科学英語、さらには薬剤師国家試験対策に関して、我々がこれまでに蓄積した独自のコンテンツに基づいて、自学自習用オープンコースを WebClass 上に作成し、運用を開始した。

2. 方法

これまでに作成した授業用などのコンテンツ（講義ノート、プレゼンテーション、演習コンテンツ、ドリルテストなど）に関して、全学的に利用可能なものについては、WebClass 用のオープンコースとして、WebClass に登録された長崎大学の学生ならば誰でも受講登録できる形式で、三つのオープンコースを学内公開した。

(1) 情報リテラシー自主演習コース（図 1）

- Word、PowerPoint（図 2）、Excel、Access の自主演習用課題、情報系科目の講義ノート・プレゼン、情報セキュリティ・モラルのドリルテスト、Tips 集

(2) 科学英語自主学習コース

- 科学英語の reading 問題、重要英単語のリスト、科学英語ボキャブラリードリル

(3) 薬剤師国家試験自主学習コース

- 過去の薬剤師国家試験の自習ドリル（図 3）、計算問題の解説、薬剤師国家試験関連科目の講義資料

Information Media Center Annual Report 2008

メンバーへのお知らせ

Wordレポート演習とPowerPoint応用演習を更新(5/9)
スキルTip演習集更新(9/19)
Word脚注・見出し演習をup(9/4)

会議室 top

» ●スキルTip演習集	最新記事 西田 孝洋 2007-09-19 06:09:45	学習履歴[11]
» ●情報セキュリティ・モラル演習集	最新記事 西田 孝洋 2007-09-28 11:09:41	学習履歴[9]
» 勉強の方法(情報リテラシー自主演習)	最新記事 西田 孝洋 2007-06-12 02:06:42	学習履歴[1]
» 質問箱(情報リテラシー自主演習)	最新記事 西田 孝洋 2008-05-09 14:30:51	学習履歴[3]

解説 top

» ●「情報リテラシー」共有講義ノート用子2008	学習履歴[8]
» ●「情報処理入門」講義ノート用子2008	学習履歴[9]
» ●WebClass, Eメール 備忘録	学習履歴[3]
» ●Office 2007での操作手順	学習履歴[1]
» Word基礎演習「情報処理入門」	学習履歴[3]
» Wordレポート演習「応用情報処理」2008	学習履歴[1]
» Word脚注・見出し演習「講習会」	学習履歴[1]
» PowerPoint基礎演習「情報処理入門」	学習履歴[0]
» PowerPoint応用演習「応用情報処理」2008	学習履歴[0]
» Access基礎演習「応用情報処理」	学習履歴[2]
» Excel基礎演習「情報処理入門」	学習履歴[8]
» Excel応用演習「応用情報処理」	学習履歴[4]
» Excel統計基礎演習「薬効検定法」	学習履歴[3]
» Excel統計検定演習「薬効検定法」	学習履歴[0]

テスト/アンケート top

» ネットワークセキュリティ・モラル演習問題	[成績] 学習履歴[1]
» 合格点 [15点]	

図1 情報リテラシー自主演習
コースの画面

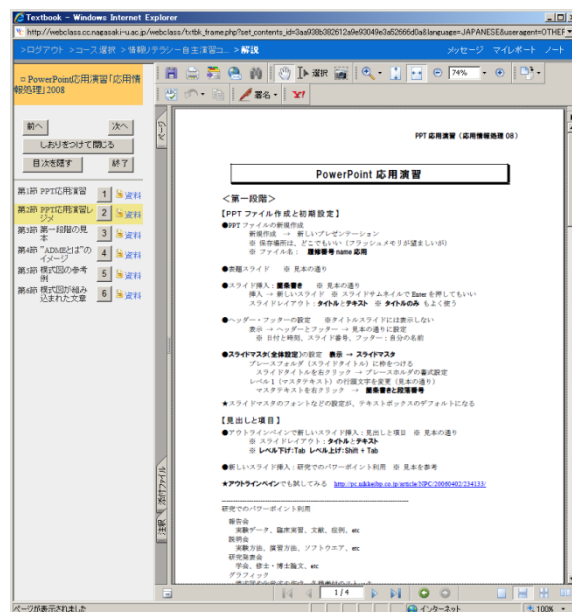


図2 PowerPoint 演習コンテンツ
の画面

Question - Windows Internet Explorer

http://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/webclass/qstn_frame.php?md=7c1ec&act_contents_id=26db4a56fa066c381ccf69276334f18&language=JAPANESE&useragent=OTHER&app=8006403

>ログアウト >コース選択 >薬剤師国家試験自主学習メニュー >テスト/アンケート

ADME (82/93回, 10 of 70)

[前へ] [次へ]

しおりをつけて閉じる

採点

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

図1 図2

図1は、Scatchardプロットと呼ばれる

図1から、この薬物のタンパクに対する結合部位数は1.0である

図1から、この薬物のタンパクに対する結合定数は10⁻⁵Mである

他の薬物によりタンパク結合の競合的な阻害があった時は、図2破線のようになる

(1)

図3 薬剤師国家試験の自習ドリル

3. 成果

平成 19 年 4 月より自学自習用オープンコースの運用を始めて、平成 19 年度においては、以下のコース登録者および総アクセス数の情報を得ている。

- (1) 情報リテラシー自主演習コース（受講者数：126 名、総アクセス数：1472 回）
- (2) 科学英語自主学習コース（受講者数：301 名、総アクセス数：2719 回）
- (3) 薬剤師国家試験自主学習コース（受講者数：312 名、総アクセス数：7513 回）

長崎大学薬学部の学生を中心に、オープンコースの周知を行ったため、受講登録者数はまだ少ないものの、アクセス数は高いと考えられる。長崎大学薬学部の薬剤師国家試験合格率は、ここ数年は全国平均を下回っていたが、今年度は上回り、薬系国立大 14 校中で 3 位という好成績を収めた。長崎大学薬学部現 4 年生のアンケートでは、ほぼ 9 割の学生が WebClass 自主学習コースを活用したいと回答した。したがって、自学自習の薦め、e ラーニング定着に微力ではあるが、オープンコースが貢献していると思われる。

4. 期待される効果

WebClass では、他コースへのリンクやコピーを活用して、他の教員と簡単に授業用コンテンツを共有することができるため、情報処理入門などの講義に関するコンテンツ共有が、このようなオープンコースで推進されることを期待している。既に、長崎大学薬学部内では、情報系教員の間でコンテンツ共有が成功している。さらに今後は、オープンで利用できるコンテンツがあることで、e ラーニングを導入する教員が増える可能性も期待できる。

5. 今後の課題

自学自習用オープンコースのコンテンツの充実が優先課題であるが、自学自習をサポートするメンターも必要と考えられる。さらに、自学自習用オープンコースをもっと全学的に周知させて、全学的な授業コンテンツ共有を推進していきたい。